高大連携による『Hokkaido Study Abroad Program』にて、北海道大学大学院に通う二人の留学生を受け入れ、本校の英語研究部(ICC)で交流しました!中国とアゼルバイジャンから政治や法学を学びに来ている留学生二人から、出身国の食文化や生活について英語で話をしていただき、生徒たちはとても興味深く聞いていました。また、生徒たちが準備した、英語による札幌と北高を紹介するプレゼンに対して留学生が熱心に耳を傾け、たくさん質問をしてもらいました。時間ギリギリまで英語での交流をし、とても楽しく、有意義な時間を過ごすことができました!

【生徒のふりかえりより】

- ・外国の方と関われる機会はあまりなく、英語力を高められるだけでなく様々な知識や経験 も得られるので、そういった時間を大切にしていきたい。
- ・少しだけ直接話すことができて良かった。今までには体験したことのないことだったので、すごく楽しかったし、良い経験になった。
- ・外国出身の方と直接会話するのは初めてだったので、内容を理解できるか不安だったが、 おおよその意味はつかむことができた。



